学校番号　30

仁賀保高等学校　中期ビジョン（５か年計画）

学校の現状や課題

1 生徒の安全・安心と学習権の確保を軸とした対応
2 地域社会との連携強化
3 情報メディア科の充実
4 キャリア教育の充実
5 特別活動の活性化

にかほ市との地域連携協定

地域貢献、地域の活力向上、地域課題の解決に向け、「自分たちのまちの未来を、楽しく面白く」していくためのアイデアを形にする取組

学校を取り巻く将来の状況の予測

少子化

地域全体の中学生数（令和３年度比）
令和7年度生は▲５５人、令和９~10年は▲約120人
➡ 秋田・山形の県境に位置する本校にとっては深刻な事態となる。

中学校卒業生	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和１０年度
仁賀保	93	75	66	70	81	75	57	68
金浦	31	22	29	21	26	29	25	25
象潟	75	80	60	62	68	61	74	48
にかほ市計	199	177	155	153	175	165	156	141
本荘北・本荘南 本荘東・岩城 由利・大内・西目	523	513	544	553	492	476	440	460
全体合計	722	690	699	706	667	641	596	601

ICTの急速な進展

コロナ禍を背景とする学校現場におけるICT化の急速な進展
⬇
情報メディア科を有する本校には、ICTスキルの高い職員が指導に携わっており、情報メディア科をアピールする好機となる。

目指す生徒像及び学校像

生徒像　予測困難な未来を、不安な未来ではなく、無限の希望を持つ未来としてとらえ、勇気を持って力強く生き抜く力「自己開拓力」を持つ生徒

学校像　生徒の人格を尊重し、社会や他者に貢献できる人材へと育成する学校

５年間を通しての具体的目標

1　生徒が安心して学び、保護者が安心して学ばせることができる環境をより一層整える
2　生徒が夢や目標を見いだし、かなえようと努力することができる環境をより一層整える
3　地域の方々が期待し、応援したくなる教育活動をブラッシュアップする
4　仁賀保高校受検生の増加につながるよう、生徒自身が充実感と魅力を感じる教育実践を行う

具体的な方法、取組等

1　生徒が安心して学び、保護者が安心して学ばせることができる環境をより一層整える

（1） 生徒、保護者の思いや目線を大切にした日頃のコミュニケーションや教育活動
（2）安全・安心を第一とした教育活動
（3）生徒会などを通じて生徒の声を吸い上げた学校環境の整備
（4）デジタルとアナログのベストミックスを追求した広報活動の充実

3　地域の方々が期待し、応援したくなる教育活動の実現を目指す

（1）地域連携協定を活かした地域社会との関わり（地域行事、伝統芸能等への参加）
（2）地域と連携した防災活動
（3）地域小中学校への教育支援活動
（4）挨拶やマナー、モラルの指導

4　仁賀保高校受検生の増加につながるよう、生徒自身が充実感と魅力を感じる教育実践を行う

（1） 仁賀保高校の取組内容について、社会への積極的な発信
（2） 中学生や地域からの仁賀保高校に対する期待・要望の傾聴
（3）地域連携協定を活用した地元以外の受検希望者へのサポート

2　生徒が夢や目標を見いだし、かなえようと努力することができる環境をより一層整える

（1）授業の改善
①積極的なICTの活用　②目標やねらいを明確にした授業実践
③ユニバーサルデザインの視点を活かした授業構築
④深い学びの達成を目指す授業の実践　⑤ICTを活用した在宅学習

（2）キャリア教育の更なる充実
①総合的な探究委員会を中心とした組織的なキャリア教育の実践
②全体計画等を意識した各教科・科目の年間指導計画や教育課程
③生徒が主体的に自らの学びを考えることを意図したｱﾗｶﾙﾄ方式の教育課程　④ｶﾘｷｭﾗﾑﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄによる地域教育資源との有機的連携

（3）情報メディア科の充実
①進学・就職双方に対応する指導　②最新機材の整備
③先端の職業現場や学びに触れる地域企業や教育機関との連携
④魅力ある授業コンテンツ（ﾄﾞﾛｰﾝ操作習得、ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ番組制作など）

（4）普通科の充実
①進学・就職双方に対応する指導　②地域探究の充実
③オリジナル教材を活用した英会話教育や情報メディア科目の履修

（5）生徒会活動、部活動の充実
①生徒の主体性を尊重した部活動編成
②生徒の責任ある意見・要望が尊重、反映される学校運営

（6）自己と他者を大切にする「こころ」の育成
①日常的な挨拶指導　②生徒に考えさせる問いかけ

（7）教育活動の充実をめざす校務分掌組織の改編